

平成29年度事業計画

I 基本要領

1. 役員

理事	13人（理事長、副理事長、常務理事含む）
監事	2人

2. 評議員 15人

II 事業方針

【法人運営】

当財団は、地域住民の自発性に基づく生涯にわたる学習要求等に応えるため、生涯学習機会や情報の提供、住民交流活動の支援、促進等必要な事業を行い、生涯学習の推進及び協働のまちづくりの推進に寄与することを目的に平成2年に設立されました。そして、平成24年4月1日には「公益財団法人」の認定を受けています。

その目的達成のため、生涯学習事業と施設管理を“公益”の観点から常に検証し、新亀岡市生涯学習推進基本計画（平成22年度から10年計画）を基本に、行政と連携するなかで民間活力を十分に発揮し、『生涯学習都市宣言』にふさわしい資質を備え、市民の福祉向上に寄与していくため、各種事業を進めていきます。

また、新公益法人制度の下で、組織運営の見直しや明確化と効率化、透明性の確保、法人のガバナンスの強化、コンプライアンスの強化を進め、公益法人としての社会的信用、使命感及び責任感を持って、一層の充実を図ります。

【生涯学習事業】

財団が実施する生涯学習文化振興事業では、市民の様々な学習意欲に対応し、「学びのきっかけ」を多彩に提供します。市民の生きがいを育むため、自発的意思に基づく学習活動がより活発に、幅広く展開されるよう、学習機会の効果的な提供に努めます。

各事業の実施にあたっては、職業や性別、障がいの有無等に関わらず、誰でも参加できる環境を整えるよう配慮し、幅広く学習機会を提供します。また、京都学園大学や亀岡市文化資料館、亀岡国際交流協会、かめおか市民活動推進センター、市民活動団体及び文化団体等と連携し、その知的資源やネットワークを活用した事業を展開し

ます。

亀岡市の生涯学習施策の特長は、"循環型生涯学習"と"協働"です。財団では、学習機会の提供にとどまらず、市民が講座やサークル活動等で学んだ経験を生かし、自発的に生涯学習活動に取り組むことを総合的に支援します。市の生涯学習施策の中核を担う公益法人として、民間と行政をつなぎ、効果的な生涯学習を推進するとともに、まちを愛し誇りに思う気持ちを育み、生きる喜びと明るく豊かなまちに住む喜びの持てる亀岡を目指します。

【施設運営管理】

平成29年度は、「ガレリアかめおか」の管理運営については19年目、指定管理者としては4期目、12年目となります。

当館は平成10年9月の開館から18年以上が経過し、施設や設備、備品の損傷が目立つようになってきています。利用者の安全と快適を第一に、点検、修繕を行い、維持管理に努めます。

一方で、亀岡市及び周辺地域の公共施設の閉鎖や制限により、文化施設、会場施設としての当館の役目は、ますます重要になってきています。市内、市外を問わず、皆様に幅広くご利用頂けるよう、より公正な予約管理を行ってまいります。

また、さまざまな用途が複合する当館を効果的に管理するため、館内の各事業所や店舗とも連携、協力を行ってまいります。

生涯学習事業と生涯学習施設を一体的に行える指定管理者として、今後も継続的な指定を受けるため、より一層効果的な施設管理に取り組んでまいります。

事業方針を達成するため、平成29年度の事業計画に基づき、各種事業の計画的、積極的な執行に取り組めます。

1. 生涯学習文化振興事業

主催事業については、三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、亀岡生涯学習市民大学）を中心に、各種講演会や文化芸術振興事業等の一層の充実を図り、個性ある事業の実施に努めるとともに、大学等の学術機関とも連携し、その知的資源を活用した事業に取り組めます。

また、文化資料館をはじめ市内外の団体、市民等とこれまでの事業で築いてきたネットワークをさらに発展させ、双方向の連携により、幅広い分野・内容で生涯学習事業を展開します。事業を通じて亀岡の魅力を発掘し、積極的に発信することで、市民が住む喜びを感じ、誇りを持てるまちづくりにつなげます。

市民参加型のワークショップを積極的に開催し「学びのきっかけ」となる事業を展開します。また、「ガレリアかめおか」に市民が直接関わることで、自らの手で学び

の場を作るという意識を醸成することを目的に、市民参加による館内装飾事業等にも取り組みます。

国際交流事業については、複雑化する国際情勢の中で、偏見や無理解・無関心から生まれる様々な誤解、すれ違いをなくし、誰もが安心して生活できるまちづくりを目指し、亀岡国際交流協会と連携した取り組みを進めます。外国人等との交流、相互理解のきっかけとなる機会を提供し、異文化理解、多文化共生を推進します。

市民の生涯学習活動支援については、生涯学習事業助成制度、人材バンク制度を活用するほか、後援等によって各種団体等の取り組みをバックアップするとともに、ギャラリーかめおか施設の貸館業務と有機的に連携し、人材・資金・会場・広報等、幅広い側面から多面的に支援します。特に、生涯学習事業等に初めて取り組む市民に対して、これらの制度等について総合的にアドバイスし、積極的に支援します。

これらの取り組みを広く周知し、市民の生涯学習への関心を高めるため、情報紙やインターネット媒体、ポスター、チラシをはじめとする様々な広報媒体の他、連携団体のネットワーク等を活用し、市民への効果的な情報発信に努めます。

こうした生涯学習事業の一層の充実・推進のため、研修等により財団職員の意識改革を図るとともに、関係機関等との情報交換、効果的な生涯学習推進のための調査研究活動等を進めます。

実施計画は別紙のとおり

2. 生涯学習施設の管理運営事業

亀岡市から指定を受けた「ギャラリーかめおか」の管理運営業務を、より効果的・効率的行います。

(1) 施設全体の管理運営業務。

情報交歓施設(ロビーギャラリー)

学習活動施設(大広間、研修室、研修室、和室研修室、各工房など)

情報提供発信施設(心学講舎、情報コーナー、図書館)

新産業振興施設(コンベンションホール、響ホール)

エイジレスセンター(託児室など)

憩いと観光情報施設(道の駅施設)

(2) 使用許可申請の受理、許可、取消に関する業務。

(3) 利用料金の徴収及び減免に関する業務。

(4) 施設、付帯設備、備品の維持管理に関する業務。

(5) 防火管理業務、及び消防計画の作成業務。

(6) その他、亀岡市が特に必要と認める業務。

【平成29年度事業計画】

1. 生涯学習機会提供事業

(1) 講演会事業

① コレージュ・ド・カメオカ

生涯学習都市亀岡のシンボル講座として、国内外で活躍する著名な講師を招いて講演会を実施します。

② ～ダイナミックかめおか～丹波学トーク

講師と参加者が一体となって、様々な角度から郷土の歴史や文化等を学び、広い視野から亀岡を知り、グローバルな丹波学を展開します。事業実施にあたっては文化資料館や大学等と連携し、ワークショップ等も積極的に取り入れます。

平成29年度は、節供をテーマに、伝統的な行事や文化が現代にどのようなようにつながっているかについて考えます。

③ 亀岡生涯学習市民大学

市民が企画から運営までを行う市民大学として、その経験・知識・技術を結集し、市民ニーズを的確に反映することによって、一層の充実を図ります。

平成29年度も8講座と館外研修を実施し、新たな発見・感動の生涯学習の場となるような講座を展開します。

④ 各種講演会

亀岡にゆかりのある講師や、亀岡の魅力を発信する内容、適時性のある内容、将来を担う次世代が興味を持つ内容の講演会やフォーラム、トークイベント等を実施します。

京都学園大学をはじめとする学術・教育機関や亀岡市文化資料館など、様々な団体と連携し、豊富な知的資源を活用した事業を実施します。

(2) 文化芸術事業

① 文化芸術振興事業

文化芸術の振興を目的に、コンサートやライブ等を開催し、市民に鑑賞の機会を提供します。市民や学生等、アマチュアにも発表の機会を提供し、芸術の裾野を広げる事業を実施します。

② オカリナプロジェクト

オカリナ製作、演奏により陶芸・音楽を通して、市民オカリナ演奏団の拡大を図ります。また、素朴な響きを持つオカリナ音楽を市民に広め、人や自然にやさしいまちづくりに寄与します。

講座で学んだ人が、初心者や子どもに製作・演奏の指導を行う等、循環型生涯学習のモデル事業と位置付けます。

③亀岡市民文化祭・亀岡市美術展

市内の文化芸術活動者等で構成する実施運営委員会を中心に、亀岡市美術展及び亀岡市民文化祭を企画・運営し、文化交流の輪を広げます。

プロからアマチュアまで、さまざまな作品や発表を鑑賞することにより、豊かな人間性の形成と、亀岡市の文化芸術の振興を図ります。

(3) 生涯学習講座

①各種自主講座

市民参加型のワークショップを中心に、生涯学習活動を行うきっかけとなる事業を実施します。聞く・習うだけではなく、参加者間の意見交換や交流を通じて、さまざまな考え方に触れることや、一緒に学ぶ仲間を作ることで、人と人とのつながりを生み出す場とします。

また、市民がギャラリーかめおかを身近に感じ、館内で行われるさまざまな取り組みに参加するきっかけとなるよう、季節ごとの館内装飾等に市民参加型のワークショップで取り組み、施設の運営に市民参加を図ります。

各講座は人材バンクの活用や、市民活動団体等と積極的に連携して企画・運営を行うことによって、地域資源を活用して実施します。

②外国語講座

本格的な語学学習の入口として、未経験者や初・中級者を主な対象に実施します。

外国語の学習を通じて、世界の文化についての関心を高め、理解を深める機会とし、また、受講生には国際交流事業への参加を積極的に促すことで、学習成果を活用する機会も提供します。

(4) 国際交流事業

人種や国籍を問わず、誰もが安心して豊かな生活を送れるまちづくりを目指し、亀岡国際交流協会と連携して取り組みを進めます。

在住外国人の支援事業や京都学園大学等の留学生との交流、国際理解のための講座、ホームステイ、外国人に亀岡の文化を発信する事業等を通じて、市民に在住外国人や留学生等との交流の場を提供し、異文化理解、多文化共生を推進します。

2. 自発的生涯学習活動の積極的援助・促進

(1) 生涯学習関連事業の開催相談

市民が生涯学習事業を企画・実施するにあたって、総合的なアドバイスを行います。「ガレリアかめおか人材バンク」や「生涯学習事業助成」等の制度を運営するとともに、ガレリアかめおか施設の効果的な活用法の提案、事業運営のアドバイスを積極的に行うことによって、市民の自発的な生涯学習活動をサポートします。

(2) 生涯学習に関わる講師紹介、派遣

「ガレリアかめおか人材バンク」に登録している指導者や、ガレリアかめおかで講座を開講している講師、亀岡市美術展・亀岡市民文化祭等に参加している文化活動者、かめおか市民活動推進センターに登録している市民活動団体等、財団のネットワークを活用し、生涯学習事業を実施するにあたって必要な講師等の情報を提供します。

(3) 生涯学習活動への助成

「生涯学習事業助成要項」に基づき、亀岡市の生涯学習振興に寄与する自発的な生涯学習活動に対して助成します。また、京都府や亀岡市等の助成制度の情報もあわせて提供し、主催者の目的に沿った制度の活用による、自発的な生涯学習活動の活性化を推進します。

(4) 各種事業への後援

市民・企業・団体などが実施する各種事業で、生涯学習の促進に効果的なものについて積極的に後援し、自発的な生涯学習活動を支援します。

(5) かめおか市民活動推進センターとの連携

かめおか市民活動推進センターが、自発的な市民活動の中間支援機関として、その能力が十分発揮されるよう連携・協力します。

3. 生涯学習に関する情報サービスと広報

(1) 生涯学習情報の発信

財団の生涯学習事業や、生涯学習団体・サークル等の活動を広く紹介する広報紙として「ガレリアニュース」を発行します。亀岡市内及び南丹市の一部に配布する他、各地の生涯学習施設等にも送付します。

その他、生涯学習に関する啓発・推進と財団事業の理解促進のため、情報紙等で市民に生涯学習情報を提供します。

(2) インターネットを使った情報発信

ガレリアかめおかのホームページを通じて、市民のニーズに応える魅力的な情報を適時発信します。

また、フェイスブック等を活用し、即時性が高い情報を迅速に提供します。

(3) 各種広告掲載

亀岡市広報紙や新聞などあらゆる広報媒体を活用するとともに、チラシ・ポスターの掲出など、各種団体・施設等の協力を得て、生涯学習関係の効果的な広報活動を展開します。

(4) デジタルアーカイブの活用

主要な講演会については、映像等による記録を残し、事業終了後も閲覧できるようにします。これによって、当日参加できなかった人にも学習機会を提供します。

4. 生涯学習推進のための調査・研究活動

先進地や各種関係機関との情報交換を積極的に行い、グローバルな視野から、亀岡の魅力的なまちづくりと生涯学習の振興を目的として、調査・研究を行います。